

困った時はおたがいさんや。ましてやご門徒さんやし

兵庫教区佛教青年会連盟理事長 戸田 純

師走を迎え、大変寒くなりましたが、今年は和水仙が早く咲き始めました。

朋友の皆様には、ご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

この7月に教区佛教青年会連盟理事長を拝命いたし2期目となります。1期目は、1年目から行事や研修をこなすことでいっぱいいました。2年目からは、仏事の課題を私自身の中で整理していくことができました。2期目に入り整理した課題の中で2つの課題に注目しました。

1つ目は「災害対策」です。災害時、被災された寺院とその地区に、教区佛教青年会連盟と教区災害対策室が連携して速やかな支援ができるのか!?教区教務所長、災害対策室、実践運動及び仏事の担当の先生方と話を重ね、重点目標として「仏事としてあらゆる災害の支援に取り組む」を理念に、仏事が積極的に活動を行う!という災害対策の基本を提案していきます。

2つ目は、「青年会との連携」です。青年会、または佛教に興味のある若者と交流していますか?自分自身の反省も含め、今後若者との研修やお聴聞の機会を教区で作っていこうと思っています。

仏事には課題が多くあります。だからこそ多くの課題に直面し気づかれたら、どんどん提案し、思いを共有し、助け合い「おたがいさま」を大切に活動していきましょう。